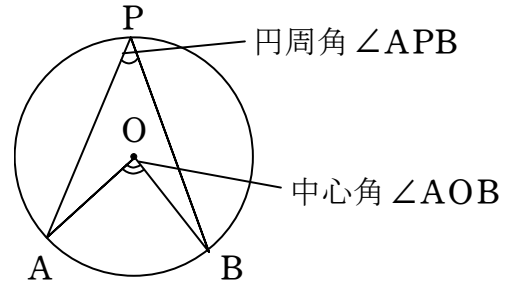


単 元	年 組 番
3年「円の性質」	氏名

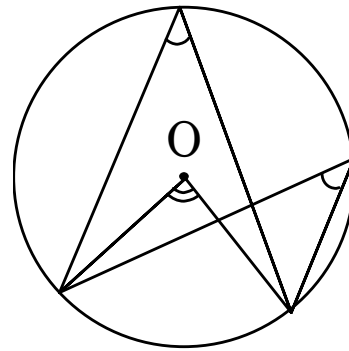
円周角と中心角

右の図の円 O で、 \widehat{AB} を除いた円周上に点 P をとるとき、 $\angle APB$ を、 \widehat{AB} に対する えんしゅうかく 円周角 といいます。



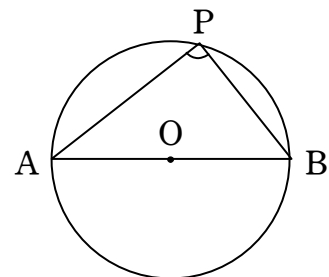
円周角の定理

- ① 1つの弧に対する円周角の大きさは、その弧に対する中心角の大きさの半分である。
- ② 同じ弧に対する円周角の大きさは等しい。



半円の弧に対する中心角の大きさは 180° なので、

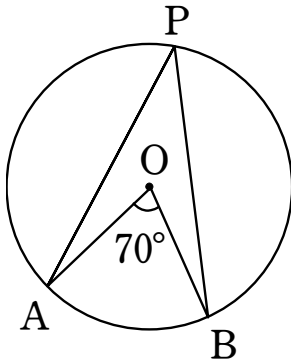
そのときの円周角 ($\angle APB$) の大きさは、 90° である。



単元	年組番	9問
3年「円の性質」	氏名	

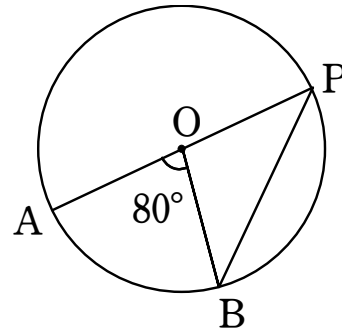
1 下の図で、 $\angle APB$ の大きさを求めなさい。

(1)



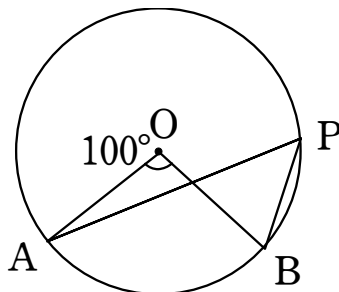
35°

(2)



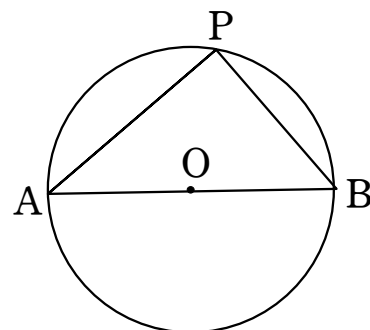
40°

(3)



50°

(4)



線分ABは直径

90°

2 右の図を見て次の問いに答えなさい。

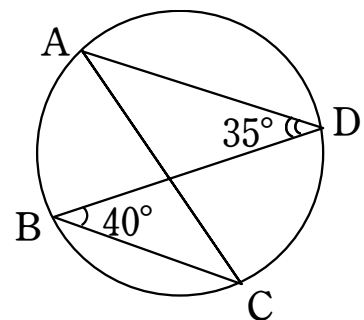
同じ弧に対する円周角の大きさは等しいので

\widehat{AB} に対する円周角より、

$$\angle ACB = \angle \boxed{ADB} = \boxed{35^\circ}$$

同様に、 \widehat{CD} に対する円周角より、

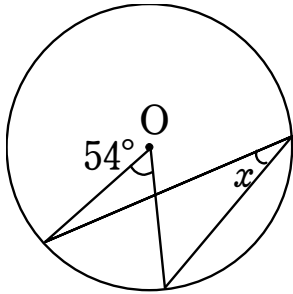
$$\angle CAB = \angle \boxed{CBD} = \boxed{40^\circ}$$



単元	年組番	8問
3年「円の性質」	氏名	

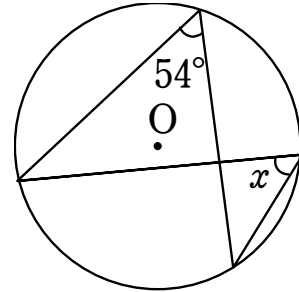
1 下の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

(1)



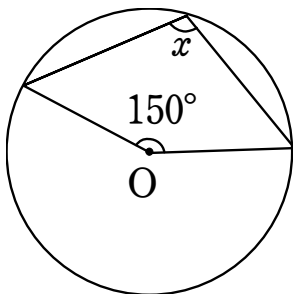
27°

(2)



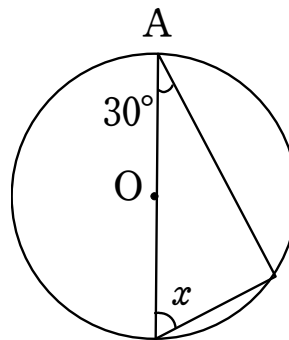
54°

(3)



105°

(4)



線分ABは直径

60°

2 右の図を見て $\angle C$ の大きさを求めなさい。

$\angle x =$ より、

$\angle y = 360^\circ -$ $=$

よって、 $\angle C =$

また、 $\angle A + \angle C =$

